

# 『(平和・交流・自然) 体験旅行』

和歌山県南部川村立

清川中学校教諭二本松芳彦

## 1 はじめに

### 学校および地域の概要

日高郡の南部、西牟婁郡との郡境に位置する南部川村は、昭和29年にそれまでの清川村・高城村・上南部村の三ヶ村が合併して誕生した。本校区(旧:清川村)は平地に恵まれず、古くから人々はわずかな耕地で糧を得ながら、96%を占めていた山林で「備長炭」と呼ばれる白炭を生産することで生計を補ってきた。しかし、昭和30年代から地域の青年たちの努力によって早生ミカンと梅栽培の研究が進み、特に梅栽培は地域の主産業となるまでに成長した。今日、この梅産業の興隆と道路網の整備などによって本校区でも若年層の定住が多くみられるようになり、過疎化現象も緩やかなものとなっている。

住民は純朴な人間性と勤勉な態度、協調性があることで近隣の人々にも評価されており、学校に対しても大変協力的で地域と学校の連携を密にした教育の推進に力添えをいただいている。世帯数は239戸・人口934人(平成13年)の小さな校区である。

生徒は総体的に素直で、協調性をもち、勤労の態度の良さは小中学校を通じて伝統的なものとなっており、地域の気風がそのまま生徒にも現れていると言えよう。

(14年度の学年別生徒数)

	1年	2年	3年	合計
男子	14	2	11	27
女子	4	9	7	20
合計	18	11	18	47

(生徒数の推移)

年度	昭30	40	50	平元	5	10	11	12	13	14	15	16
生徒数	102	81	57	47	35	30	28	37	39	47	48	48

(年間行事)

月	学校・PTA・部活動等	生徒会行事
4	始業式、入学式、家庭訪問、学級懇談会 PTA総会、中体連春季大会	専門委員会、修学会
5	遠足、中間試験、給食試食会	陸上競技大会
6	勤労体験学習、 <b>修学旅行</b>	役員選挙、生徒総会
7	期末試験、参観・懇談会、給食試食会、 中体連夏季大会、救急法講習会	球技大会
8	恩賜体験学習、廃品回収・環境整備	
9	小中合同運動会、中体連新人戦	夏休み作品展
10	遊藝訓練、学校訪問、中間試験	生徒総会、役員選挙
11	小中PTA研修、郡駅伝大会、福祉体験、 給食試食会	生徒総会
12	評定発表会、期末試験、廃品回収、 参観・保護者面談、小中合同懇談会	奉仕活動
1	県PTA指導者研修会・給食試食会	百人一首大会
2	3年学年末試験・新入生保護者説明会	生徒総会、校内球技大会
3	1・2年学年末試験、卒業式、修了式、 高校入試、1・2年参観・懇談会	3年奉仕作業、

## 2 実施までの取り組み

### (平成12年度まで)

・13年度3年生（この時点では2年生）までは「連合加入」のため高城中学校（近隣校）

と

合同で東京方面（2泊3日）で実施

### (平成12年度)

1年生（現3年生）男子11名・女子7名 計18名 入学

※2年後を見据えて修学旅行を考えることを提起する

（方向） 単独実施をしたい

（理由）

（近隣の高城中学校に提案）

・人数の関係（割引等）で必要性がない

・教育課程の変革に伴い、学校独自の取り組みをすすめたい

@平和学習・交流学習・体験学習を考えた総合的な学習を位置づけた  
い

※「期日・内容など独自で進めたい」ということで、「連合脱退」を決める

※修学旅行に向けて、「平和学習」「集団づくり」などの具体的な取り組みを始める

### 人権教育年間計画（平成12年度より現在）

	第1学年	第2学年	第3学年
学 級 活 動	学級集団づくり	学級集団づくり	学級集団づくり
	平和学習 （戦争当時の様子）	平和学習 （ヒロシマ・ガ特原爆）	平和学習 （沖縄の戦い）
	体験学習 福祉活動について －保健福祉センター－	体験学習 障害者との交流 －なかよし作業所－	体験活動 乳幼児とのふれあい －保健福祉センター－
	文学「はぐるま」（すみれ島・夜のくすの木・まちんと・二銭銅貨・ペロ出しチョンマ）		

※戦争（主に太平洋戦争）とは（資料参照）

真珠湾から終戦まで経過・各地の空襲など・当時の生活・

「リサーチタイム」(総合的な学習に向けての試運転)で「戦争」について調査

### (平成13年度)

※交流校探しを開始

(できれば同じ僻地小規模校ということで、教育委員会に依頼する)

※6月24日・25日 校長・担任で沖縄県下見

(何校か直接伺って趣旨説明)

※業者入札 (4社に依頼) 6月ごろ依頼 8月末落札

(東急観光に決定) ※「クエフ島」の魅力・・・

※交流校決定 津堅島の勝連町立津堅中学校に決まる

※交流開始

第1弾 郵送にて自己紹介(B4用紙を利用) 11月ごろ

その後、メールを打つ(最初の何回かは個人で作成し、一括して送信)  
津堅中は生徒会を中心に、「津堅通信」を作成して送信してくれたので、こちらも「清川通信」(2人組みで9回)ということで、通信の交流が

始まった。

※平和学習

学校行事・・・広島(1泊2日)へ平和学習

学級・・・・広島・長崎 (ビデオ・文学授業・読み聞かせなど)

### (メールによる交流の一部)

和歌山県 清川中学校 二本松先生 お電話ありがとうございました。FAXにて貴校のメールアドレスを受け取りましたので早速メールで返信させていただきます。どのような形で交流していくか検討しながらこつこつ実践したいと思いますので宜しくお願いします。

沖縄県 勝連町立 津堅中学校

上原秀樹

### 前略

朝夕は涼しくなっていますが、日中はまだまだ暑く、扇風機やクーラーを求めて過ごしています。

みなさんからのお手紙やメールをいただいたのに、確認をせず、返事が遅れてしまったことをお詫びします。

2学期に入るとすぐに親友会との合同運動会があり、それが終わると中堅地区陸上競技大会がありました。毎年、その大会に出場するのですが、大きな学校には勝てず、得点はいつも0点でした。しかし、今年は、砲丸投げで3年生の赤嶺奈々さんが優勝をし、2年生の緑間諒くんが走り高跳びで7位入賞で、10点を獲得しました。私たちは今、10月23日に行われた職場体験学習のまとめと発表会に向けて、新聞づくりを頑張っています。また、その様子などは後でお知らせします。お手紙(メール)ありがとうございました。

二本松 芳彦先生・生徒のみなさんへ

津堅中学校 緑間千賀子・生徒会

清川中学校 生徒会役員のみなさんへ

初めまして、僕たちは、津堅中学校 生徒会役員で清川中との交流を担当します。2年安里裕一 と 1年緑間信 と大蓮小百合です。



今日は、自己紹介を兼ねて、先週火曜日に行われた、「サバニ出島周り」の写真と、僕たちの写真を送ります。僕たちの写真は、左から 悟 裕一 小百合 の順番です。これからも、たくさんメールを打つので楽しみにして下さい。  
津堅中学校

2年 安里裕一 1年 緑間悟 1年 大道小百合

(平成14年度)

@「津堅通信」と「清川通信」による交流

@平和学習のまとめへ

- 「沖縄の戦い」について (復帰50周年 新聞記事より)
- 太平洋戦争勃発から沖縄戦、そして終戦 「太平洋戦争と沖縄」ビデオ
- 映画「ひめゆりの塔」鑑賞
- 米軍基地について

@添乗員 (東急観光 小島 寛さん) に3回授業を依頼

- できるだけ生徒と親密な関係で旅行してもらうことが目的
- 沖縄について (行程) ・ 諸注意 ・ 「沖縄クイズ」 など

@村バスチャーター決まる (関空往復 村より許可)

@梅・備長炭 PR の計画

地域の方や地元の梅会社 (練西山) より梅エキス・乾燥梅などいただく

@「しおり」作成 分担を決めパソコンを使って作成 製本は自作 (製本機)

@地域の方の講話 近隣の和尚さんより (歴史・文化・方言など)

@直前学習

南部川村立清川中学校 様



行き先	沖縄	日数	4日間(車中泊 宿3泊)
-----	----	----	--------------

日	時刻	内容	備考
1	5/25 (火)	乗込バス ANA991 【昼食・学習】 乗込乗機 乗込バス 新谷IC 那覇空港空港 那覇空港 那覇空港 那覇空港 08:30 09:00 09:20 11:20 12:10 13:00 14:00 那覇市内の予定時刻 那覇空港公園 (平和記念資料館、平和の鐘、平和の像、平和の像、平和の像) 那覇F1 【昼食】 14:40 15:40 16:30 17:00 17:30 18:30	(401) 那覇マリンビューパレス TEL: 098-945-8111 〒900-8424 那覇市那覇7丁目1-1 098-945-8111
	5/26 (水)	那覇F1 【昼食】 (平和記念資料館) 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 08:30 09:00 09:20 10:00 11:20 12:00 12:30 那覇F1 【昼食】	(1501) 那覇マリンビューパレス TEL: 098-945-8111 〒900-8424 那覇市那覇7丁目1-1 098-945-8111
3	5/27 (木)	那覇F1 【昼食】 (平和記念資料館) 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 07:30 08:00 08:20 10:40 11:00 12:10 14:00 那覇F1 【昼食】 (平和記念資料館) 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 10:40 17:00 17:30 18:00 19:00 20:00	(1001) 那覇マリンビューパレス TEL: 098-945-8111 〒900-8424 那覇市那覇7丁目1-1 098-945-8111
	5/28 (金)	ANA994 【昼食・学習内】 乗込バス 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 那覇F1 08:30 09:00 10:20 11:00 12:30 14:20 14:50 16:00頃	

## 修学旅行までの取り組み

月	平和学習関係	交流学習関係	学級活動関係
4	・第二次世界大戦について (その経過)	清川通信開始 (週1回) 現地交流内容の提案	沖縄の学習(調べ学習) ・文化 ・地理 ・歴史
5	・太平洋戦争勃発から沖 縄戦まで 「沖縄の戦い」ビデオ鑑賞	10日(金)までに 現地交流内容を決定する 清川通信2号～6号	2日(木)までに企画班決定 6日(月)～各 班企画開始 沖縄学習(文化・地理・歴史) 17日(金)各班企画決定 第1回沖縄クイズ実施
6	・「ひめゆりの塔」について ・米軍基地について ・学習のまとめ感想 ・私たちにできること ・「ひめゆりの塔」ビデオ	14日(金)清川通信第8 号終了(10日前) 21日(金)最終メール送信	3日～旅のしおり企画 10日～旅のしおり作成期間 第2回沖縄クイズ実施 18日(火)旅のしおり原稿完成 20日(木)旅のしおり完成 21日(金)行程諸注意確認 24日(月)直前点検

実行委員 大野智之・井平真吾・榊引英・大野莉代・山本小百合

旅行全体の企画運営・クエフ島・国際通り散策などの計画

### 企画班

**平和学習班** ④ ・しおり(平和学習)原稿作成・糸数壕、ひめゆりの塔、平和の礎での企画あいさ

つなど

**津堅交流班** ④ ・しおり(交流関係)原稿作成・交流の計画、当日の進行など

**しおり作成班** ⑤ ・しおり作成・製本作業など

### 修学旅行実行委員

実行委員長 大野智之 副委員長 井平真吾・榊引英 委員 大野莉代・山本小百合

・全体の内容を計画し、当日の指揮にあたる ・当日のあいさつ等のときはこれを行う(出発・添乗員・バス・津堅・  
民宿・クエフ・解散など)

・部屋割り、座席、集合のしかたなどの決め方を提案する ・クエフ島での過ごし方を検討し、提案する

・国際通りでの過ごし方を検討し、提案する ・その他

**平和学習班** 西村治樹 尾家野生 寺谷太一 大澤奈奈

・太平洋戦争勃発から終戦まで ・ひめゆり平和記念資料館について(資料館の説明・証言について など)・

・沖縄平和記念資料館について ・糸数壕について ・沖縄の基地問題について

**津堅交流班** 杉本和樹 田中健司 山崎智矢 榎本梨奈

・津堅中学校について(まとめる) ・当日の交流の内容を検討する ・津堅中学校と交渉し、当日代表として進行す

る

**しおり作成班** 松下和斗 下向清二 山本宗一郎 津呂恭平 池田亜都紗

・しおりの表紙やイラスト、載せる内容を検討する ・パソコンなどを活用し、しおりのホルダーを作成管理する

・各班の原稿ができしだい編集して印刷、製本する

### 3 資料編

#### (資料)

### 太平洋戦争とは

- 1941年(昭和16年)12月8日 日本軍が真珠湾を奇襲攻撃 [太平洋戦争勃発]
- 1942年(昭和17年)1月2日 日本軍がマニラを占領
- 1月8日 毎月8日を※「大詔奉戴日」とした  
※1939年9月1日から、毎月1日は「興亜奉公日」と決められ、この日は全国民こぞって戦場の労苦をしのび「一億一心奉公の誠を尽くすこと」とされた。神社参拝・勤労奉仕・禁酒禁煙が叫ばれ、料理店・喫茶店も自粛休業した。太平洋戦争が始まると、真珠湾攻撃の日を記念して毎月8日を「大詔奉戴日」とし、「興亜奉公日」は廃止。国旗掲揚・「十七里行軍」などが実施された。

#### 「十七里行軍」とは

教育現場では「鬼畜米英」「撃ちてし止まん」の標語で「聖戦遂行」のため、敵愾心(てきがいにん)があおられました。毎月8日には、朝6時からの心身鍛錬の作業と宣戦の詔勅を毛筆で消書することが課せられた。学校から勝連城北までの往復十七里(68km)を歩く。午前3時過ぎ、校庭に集合し、数個のおにぎりを持って出発。正門前では提灯を手に持ち見送ってくれた。あらかじめ医師の身体検査を受けたが、不参加者はほとんどいなかった。目的地に着いても休むまもなく帰路につき、帰りはどこを歩いているか分からないほどだった。足に豆ができ、数日も足を引きずって登校する姿が目立った。この行軍は「総力戦下の戦意高揚」と「心身鍛錬」というのが目的だった。

#### 「聖戦遂行」とは

天皇を頂点とした国家体制の下に、政府は満州事変以後の外国へしかけた戦争を「東洋平和のための戦争」と正当化した。そして、国民の戦意を高揚させるために「聖戦」と称し、神国日本が「鬼畜米英」をこらしめるための戦争である、と宣伝した。

- 1942年(昭和17年)6月5日 日本軍ミッドウェー海戦で破れ、敗北の転機となる
- 1943年(昭和18年)2月1日 日本軍ガダルカナル島撤退。米軍の反攻強まる
- 5月 アッツ島の日本軍玉砕
- 9月8日 イタリアが連合軍に無条件降伏
- 11月25日 マキン・タラワ両島の日本軍玉砕
- 1944年(昭和19年)3月22日 南西諸島に第32軍を創設
- 5月3日 沖縄守備軍本島に独立混成第44旅団・45旅団を配備。沖縄陸軍病院を編成。
- 6月6日 連合軍、ノルマンジー上陸作戦を開始
- 6月19日 マリアナ沖海戦で日本海軍、空母・航空機の大半を失う
- 7月7日 サイパン玉砕。日本の絶対国防圏崩れる。
- 8月22日 学童疎開船「対馬丸」、米潜水艦の攻撃で沈没
- 9月 学校当局、帰郷した全離島の生徒に「即時帰校」命令の電報を打つ
- 10月10日 米機、那覇市を中心に沖縄を大空襲。
- 10月21日 米統合参謀本部、沖縄攻略作戦計画を決定
- 10月24日 レイテ沖海戦。日本連合艦隊、主力を失う。



- 11月 空襲後、生徒の「疎開願い」相次ぐ。学校当局これを阻止。
- 11月24日 **マリアナ基地から、B2 9 初めて東京を空襲**
- 1945年（昭和20年）2月11日 米英ソ、ヤルタ協定成立。ソ連、対日参戦決定。
- 3月1日 **米軍艦載機900、奄美・沖縄本島・宮古・八重山を空襲。**
- 3月10日 **東京大空襲**
- 3月17日 **硫黄島玉砕**
- 3月20日 大本営「当面の作戦計画大綱」を発令し、沖縄作戦に重点をおくことを決定。
- 3月26日 米軍、慶良間諸島に上陸。「集団自決」おこる。
- 4月1日 **米軍、沖縄本島に上陸。**
- 5月29日 横浜大空襲
- 7月16日 **アメリカ最初の原爆実験** ポツダム会談
- 7月26日 ポツダム宣言
- 8月6日 広島へ原爆投下
- 8月8日 ソ連、対日参戦
- 8月9日 長崎へ原爆投下
- 8月15日 終戦

@ビデオ『太平洋戦争と沖縄』

@ビデオ『ひめゆりの塔』

@沖縄基地問題（復帰30周年より）

## 平和学習を終えて

「平和」 男子

今までの平和学習を終えて、太平洋戦争がこんなにむごいものだとは思わなかった。戦争の時代には、死にたくない人も死んでいるのに、どうして今の人は自殺するのかは、よく分からない。戦争のとき、日本人を日本軍が殺すなんて、こんなばかげたことはしてはいけないと思った。

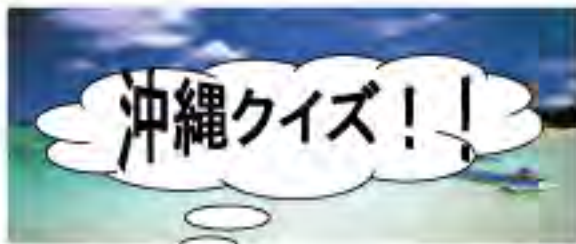
この勉強を通して、戦争の恐ろしさや、「平和」の豊かさがよくわかった。これから僕たちがつくる日本は、戦争のない豊かな日本だと僕は思う。

「平和学習を終えて」 男子

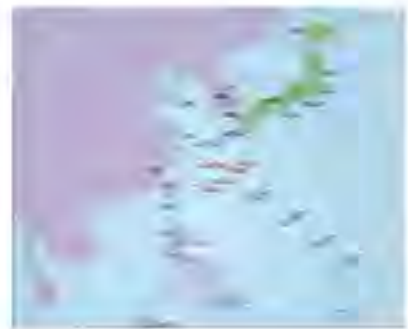
・・・・十七里行軍というので、往復68kmも歩いたと聞いてびっくりした。

日本はそこまでして、なぜ負けかかっているのに戦争を長引かせたのだろうと思った。もし、イタリアと一緒に降伏していれば、多くの戦場でむだな血を流さなくてすんでいたのにと考えた。

今度、修学旅行で、資料館の資料をしっかりと読もうと思った。



さて、何問正解できるかチャレンジだ!!



## 1st stage

1. 沖縄県は多くの島々からできていますが、さてその島の数は?  
ア. 58    イ. 100    ウ. 160    エ. 200
2. 沖縄の人口は次のうちのどれか。  
ア. 48万人    イ. 106万人    ウ. 133万人    エ. 206万人
3. 沖縄の県庁所在地は(ア. 糸満    イ. 那覇    ウ. 沖縄    エ. 嘉手納)市、そこから東京までの距離よりも、4.(ア. タイ    イ. 中国    ウ. マレーシア    エ. フィリピン)にあるマニラに行く方が近いと言われている。
5. 次の地場産業は、全国ランキング1位となっています。が、ひとつだけ間違っただものがはいつています。さてそれはどれ?  
ア. 鶏肉    イ. モズク    ウ. 泡盛    エ. バインアップル    オ. 洋ラン
6. 沖縄で県の木と指定されているものはでいごである。○が×か。
7. 明治初期まで続いた琉球王朝時代。さて始まりはいつ?  
ア. 7世紀    イ. 15世紀    ウ. 17世紀    エ. 19世紀
8. 次の読み方で正しいものはどれ?  
恩納村    ア. おんのうむら    イ. おんなむら    ウ. おんのうそん    エ. おんなぞん
9. 「南風原町」はなんて読む?  
ア. なんばらちょう    イ. はえばらちょう    ウ. なんふげんちょう    エ. みなかばらちょう
10. 「ちゅっさぎやいびーが」これは沖縄のほうげんですが、意味はどれ?  
ア. いくらですか?    イ. こんにちは    ウ. お元気ですか?    エ. また会おう
11. 「うきみそーちー」の意味を次から選びなさい。  
ア. こんにちは    イ. ごめんなさい    ウ. ありがとう    エ. おはようございます
12. 「いらっしめいませ!」沖縄の方言ではなんといいうのでしょうか。  
ア. わん    イ. めんそーれー    ウ. んじちやーびら    エ. にふそーでーびる
13. 沖縄の年間平均気温は次のうちどれか。  
ア. 16度    イ. 18度    ウ. 22度    エ. 30度
14. 沖縄の歴史、753年にある人物が漂着するがその人物とは?  
ア. 鑑真    イ. バリー    ウ. コロンブス    エ. 李白    オ. 杜甫    カ. マルコポーロ

## 2nd stage

15. 太平洋戦争によって激戦下におかれた沖縄、凄まじい爆撃投下と砲撃により緑豊かな本土は焦土と化してしまいます。このことを、「〇の暴風」と呼びますが、さてこの〇とは次のうちどれ?  
ア. 竜    イ. 石    ウ. 船    エ. 雲



16. 沖縄戦最後の激戦地となったのは次の市のうちどこか？

ア 糸濱市 イ 那覇市 ウ 名護市 エ 具志川市

17. 摩文仁に敵味方の区別なく約24万人の戦死者の名を刻んだ礎（いしじ）が建てられました。

さてこれは、何の礎とよばれているでしょうか。

ア 沖縄の礎 イ 未来の礎  
ウ 平和の礎 エ 勇気の礎



18. 太平洋戦争終結後も、沖縄の基地の建設がどんどんと進められ、広大な基地が形成されていきました。このことから沖縄は「太平洋のキーストーン」と呼ばれるようになりました。さてこのキーストーンとは漢字でかくとどれになるか？

ア 礎石 イ 金石 ウ 礎石 エ 美石

19. 第二次世界大戦後、アメリカの占領下におかれていた沖縄はやがて返還されましたが、それは今から何年前のことか。

ア 50年前 イ 40年前 ウ 30年前 エ 20年前

20. 沖縄に存在する米軍専用面積（米軍基地）は24,238haにも及ぶが、この面積が占める割合は全体の米軍基地の何パーセントにあたるか。

ア 約85% イ 約75% ウ 約55% エ 約25%

## 3rd stage



21. 最近、島唄を歌っているグループ名は次のうちどれ？

ア BOOM イ BEEM ウ DOME エ DA PAMP

22. 最近メジャーデビューした元、ちとせ、飯女の出身地はどこ？

ア 石垣島 イ 種子島 ウ 奄美大島 エ 談路島

23. 交流している津堅中学校、さて担任の先生の名前は？

ア 上島先生 イ 上原先生 ウ 島田先生 エ 藤原先生

24. 修学旅行、初日に宿泊するホテルの名前は次のうちどれ？

ア マリンビューパレス イ パーパビューホテル ウ 神谷荘 エ シーサイドホテル

25. エメラルドグリーンの海が美しい沖縄、日本本土をはじめ、台湾、韓国等から多くの観光客が訪れる。さてここを訪れる一年間の観光客の数は？

ア 50万人 イ 100万人 ウ 200万人 エ 400万人



何問正解する  
ことができた  
かな？さあ、

南部川村 梅と備長炭のPR用 横断幕のひとつ

これが、日本一の紀州梅です。  
召しあがって下さい。

和歌山県日高郡  
南部川村清川中学校  
3年生 修学旅行団

😊😊  
おいしいヨ ♡

PR活動 梅干（3個いりパック） 備長炭（ご飯用）  
乾燥梅・梅エキス（株式会社様より）  
国際通パレット広場にて（観光協会に許可）



はと竹 修学旅行 配布した  
で沖縄を訪れた。同校は特産品を  
和歌山県の南部く知ってもらうため、生  
川村立清川中学 校が毎年修学旅行先で梅  
干（備長炭、全校生と備長炭の買込をしてい  
徳47人）の3年生18人は、同村は人口6790  
27日、那覇市のパレット人で、住友の約8割が梅  
くもじ前で地元特産品の 梅干と備長炭を  
梅と備長炭を運ぶ人。生健会の寺谷太一  
会長、世工田  
中藤副会長  
川村の梅は両  
が發掘して、  
お茶漬けにす  
るととてもお  
いしい。沖縄  
の多くの人に  
をるまでこの梅  
を知ってほし  
いと話して  
いた。



# 清川中学校の皆さんへ

## 津堅中学校便り

津堅中学校生徒会 交流係

平成14年5月2日（木）第9号

### 先週の行事

#### ススキ刈り（26日・金曜日）

◎ススキ刈りについて津堅中1年の渡久地知恵美さんにレポートをまとめてもらいました。

●ススキ刈りについて

4月26日にススキ刈りがありました。私達1生にとっては、中学生になって初めてのススキ刈りでした。

私は初めてカマでススキを刈る作業をしました。でもなかなかススキが切れなくて途中から切ったススキを運ぶ作業をしました。ススキは長くてと

ても運びにくかったので、「もうやりたくない」と思ったけど、3年生の明菜先輩が横でとてもがんばっていたので自分も「一生懸命やらねば」と思いました。そのため集中して取り組んだので今年のススキ刈りはいつもよりなんとなく短く感じました。

ススキ刈りの後、おやつを頂きました。頑張った後のおやつは、とてもおいしかったです。私達が刈ったススキでたくさん花が咲けばいいなあと思いました。



1年 渡久地知恵美さん



◎次号は、女子バレー部と3年1組の紹介記事です！

津堅中学校生徒会交流係編集： 3年 安里裕一、2年 緑間悟、2年 大道小百合

# 清川通信

こんにちは。今回メールを打つのは、  
大野 莉代と・尾家 野生です。

つけん中学校の皆さん、この前から、たくさん  
さんのメールをありがとうございます。



右から2番目が尾家、4番目  
が大野です。他は2年生の  
お嬢たちです。来年よろしく！

ゴールデンウィーク中、卓球部は3  
日に南部中学校へ、バレー部は5日に  
和歌山市の明和中学校へ練習試合をし  
に行きました。そのために、どのクラブ  
も夏の大会に向けて一生懸命、練習に  
励んでいます。

ゴールデンウィークが終わったら、す  
ぐにテストがあります。

今、清川中では、リサーチタイムということをやっています。これは総合学習の一環  
として、いろいろなことを調べる学習のことです。今年のテーマは「ふるさと再発見」  
で、地域のことについて調べます。

前回のリサーチタイムでは、勝股文夫さんという炭焼きの方のお話を聞きました。  
清中の体育館裏には、勝股さんが修理してくださった、炭窯もあります。今月の二十日  
には、近くの遺跡を見に行ったりする予定です。

12月までにまとめて、発表もします。

沖縄に行ったときのために、平和学習班や、津堅交流班などを作りました。色々な計画も進  
めているので、そちらのほうも楽しみにしててくださいね。

次回の清川通信は 田中健司・山崎智矢 が担当します。お楽しみに!!



# Lets Enjoy In Okinawa パート 1

2002年6月25日(火)～28日(金)

さて先生はどこでしょう？



きゃあ！きゃあ！（クエフ島）とにかく気持ちいいのだ



津堅へ・・・ワクワクドキドキ



バスの中(小島さんステキ)



那覇空港で(のはら歌の会の皆さんと)



記念資料館にて



感動的なお別れでした



アイス娘たちです(東南植物園にて)



# Lets Enjoy In Okinawa パート2



東南植物楽園にて



安保の丘(でっかいなあ)



朝食(今日も元気だ)



心に焼きつけた夕日  
(津堅にて)



バスの中は楽しい!

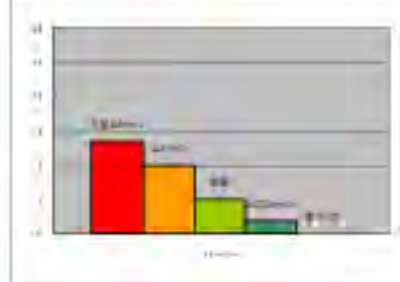
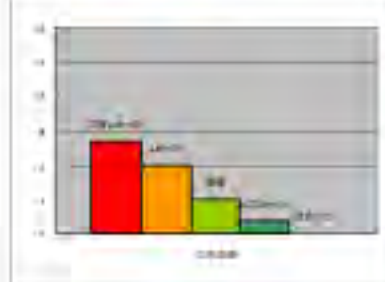
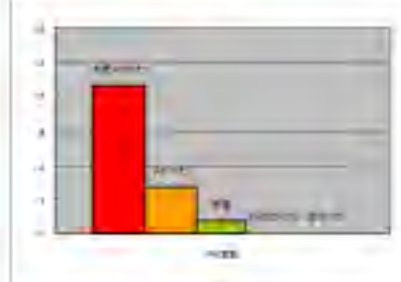
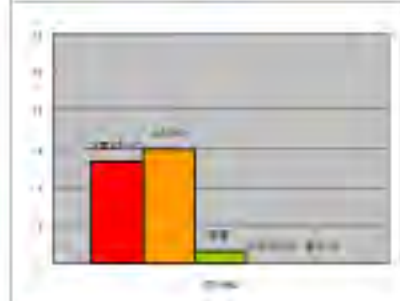
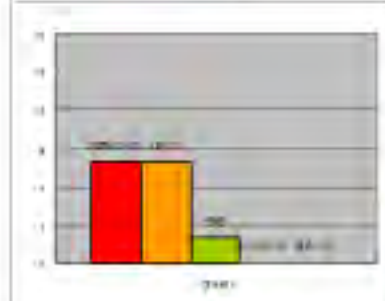
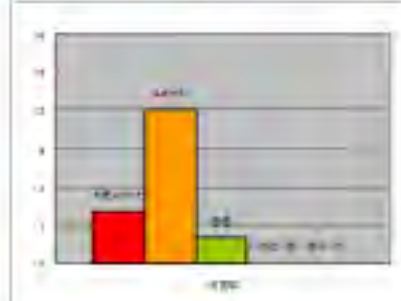
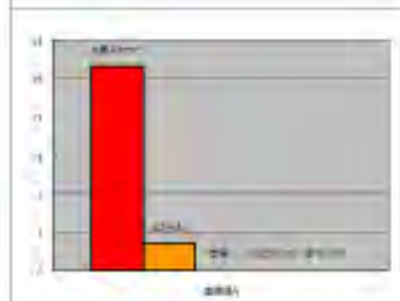
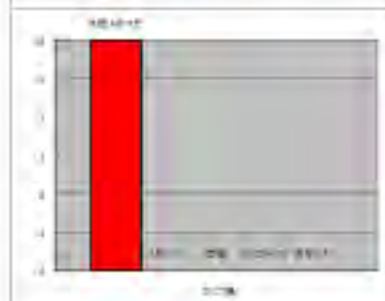
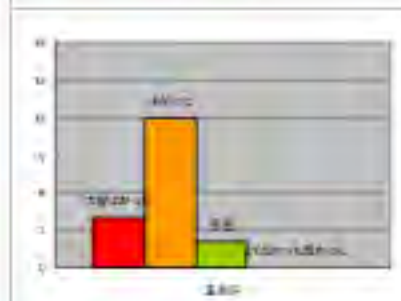
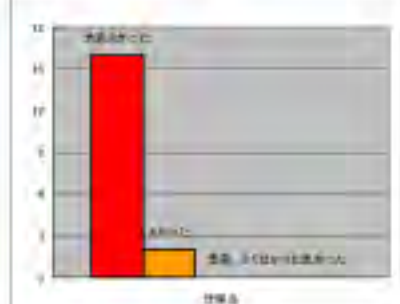
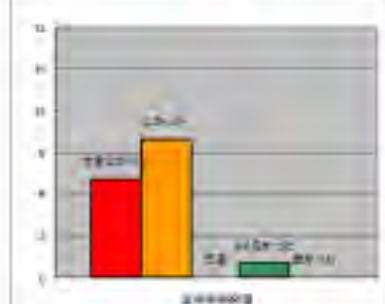
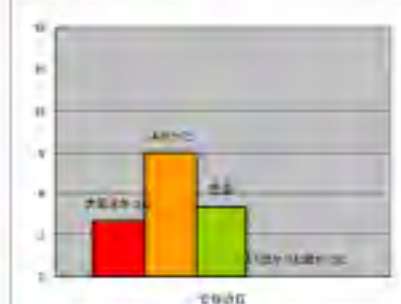
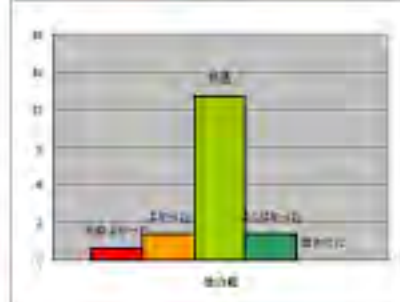
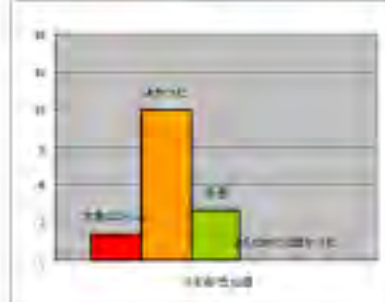
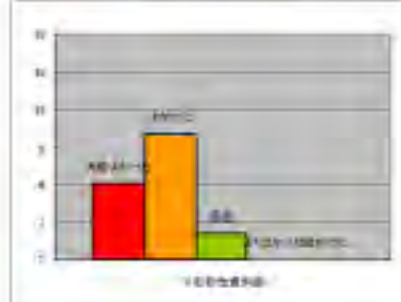
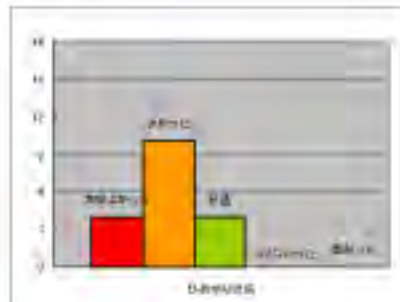
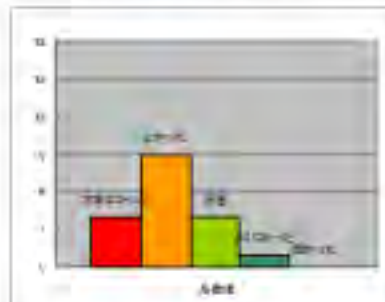
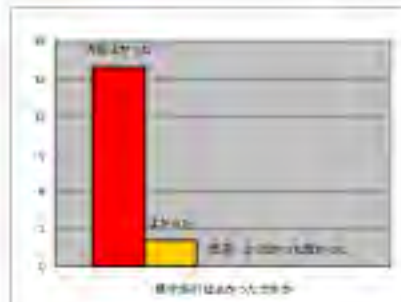


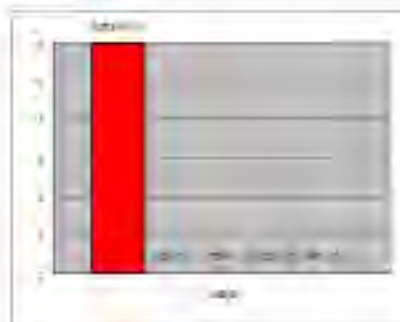
クエフ島で





## 修学旅行を終えて（生徒のアンケート結果）





## 一言感想

- ・みんなが一丸となって行動できたのでとてもよかった。(智之)
- ・すごく楽しかったです。もう一度と言わず何回でも行きたいです。(葵)
- ・心に残る修学旅行だった(清二)
- ・いい思い出がたくさんできた、いい修学旅行でした。(和斗)
- ・修学旅行はよかった。(宗一郎)
- ・とてもよかった(和樹)
- ・とてもよかった。ハブニングもなく、みんなまじめだったので、とてもよい修学旅行になった。たくさんの体験ができた。(奈奈)
- ・平和学習・交流をして、修学旅行は最高の思い出になった。(太一)
- ・とてもよかった。(智矢)
- ・3泊4日の修学旅行は、交流をしたり、PRをしたり、いろいろな体験ができてよかったと思う。最高の思い出になった。(莉代)
- ・けがもなく、みんな元気で楽しく行けたと思います。津堅の子とも楽しい交流ができたと思う。(梨奈)
- ・平和学習はとても勉強になった。3日目のクエフ島はとてもおもしろかった。特にドラゴンボートが、またやりたい。(小百合)
- ・遅刻をしたりしてみんなに迷惑をかけたけど、最終的に楽しい修学旅行になってよかったと思う。(野生)
- ・暑いので対策を(真吾)
- ・大変よかった。これからも沖縄へ修学旅行で行ってほしい。(亜都紗)
- ・交流はよかった。(恭平)
- ・とても楽しかった。(治樹)
- ・みんな仲良くけがもなく、楽しく行ってこれたので、最高に楽しかった。(健司)

## 良くなかった点

- ✖ 船に酔った
- ✖ クエフ島の渡船で酔った
- ✖ 船酔いをした、遅刻をした
- ✖ 資料館で、大音でしゃべったり笑ったりしている人がいて、うるさかった、人もいっぱいいて見にくかった

- \* クエフ島でもう少し時間をとってほしかった。
- \* 資料館が混雑していてあまり見れなかった。
- \* 船で酔った。
- \* 語り部の人に質問があまり多くなかった。
- \* しおりをもっと活用したほうが良かったと思う。
- \* 自分の作ったしおりのところがかなり間違っていた。
- \* もう少し時間の余裕がほしかった。
- \* 特になかった。
- \* 津堅中学校との交流で積極的にできていない人がいた。

### 来年へのアドバイス

- お金はあまり持っていっても使うところがない。あと、むりやり買わされることもあるので気をつけろ。国際通りで、値段のかわいていないやつは気をつけなさい。
- ホテルのジュースなどは高い。
- みやげは安い店でまとめて買ったなら少しまけてくれるかも
- 校長先生のことばを信用しすぎるな。国際通りのほうが他より安い。
- 空港とかホテルではなるべくみやげを買わないほうが良い。神谷荘に泊まる時は、シャンプーとリンスを持っていったほうがよい。
- 機内では他のお客さんもいるので静かに。クエフ島ではぜひマリンスポーツを！
- 買い物をするときは、他の店も見ても安いのを買ったほうがよい。
- もうちょっと交流の時間を増やす。おみやげは、いろいろな店をまわってから買う。
- 絶対に玉泉洞とクエフ島には行ったほうがよい。
- おみやげは国際通りで買ったほうがよい。
- 時間にもっと余裕をもったほうがよい。おみやげは国際通りですませたほうがよい。(安いところがあるから)
- お金はあまりいらぬ。津堅には行ったほうがよい。
- 国際通りのほうが安い。
- きまりを守っていれば楽しく過ごせる。
- お金は2つの財布に分けておいたほうがよい。
- 本当に楽しかったです。津堅中との交流はしっかりしてたくさん友達をつくってください。
- 津堅中に行くとき、超緊張する。でも、行ったら以外に気楽になる。
- おみやげを買うときは荷物になるので、最後のほうで買ったほうがよい。あと、カステラに気をつけろ。

## 最高の修学旅行

山本宗一郎

僕たちの修学旅行が25日から、3泊4日で始まった。3日とも内容が違い、平和学習・学校交流・沖縄を満喫というふうに、さまざまな体験ができた。

1日目は、平和学習だった。ひめゆりの塔・資料館・壕いろいろな所へ行った。壕の中で、説明をうけていた時、当時の様子などがよく想像できた。とても暗くて、ここで住んでいた人たちは苦勞したと思った。ひめゆりの塔は意外と小さく、資料館には死んだ人の写真がずらっと並んでいた。まだまだ若い人もいて、戦争で青春をとられてとてもかわいそうだった。平和記念公園には、残酷な写真がたくさんあったので、あまりずっと見るができなかった。模型で母が子供を殺しているところがあり、母も子どもどちらもかわいそうだった。外にある平和の礎には、沖縄戦で死んだたくさんの人の名前がのせられていて「こんなにも沖縄戦で死んだんだ」と思い、言葉も出ずに名前を見ていった。夜には、当時の沖縄戦の様子を語り部の人話してくれて、写真などを見せられてショックを受けた。

2日目には、長い間交流してきた津堅中学校の人と交流した。港で迎えがいて、最初はとても恥ずかしかったけど、だんだん交流していくと、話す事もありとても楽しかった。空手・三味線はとても上手だった。自己紹介や島唄などを歌ってから、浜に出て初めてのハーリー体験をした。班に分かれて津堅中学校の人たちにこぎ方を教えてもらって、そしていざやったら結構速かったけど、結構しんどかった。夕食会には、バーベキューをし、よりいっそう津堅中学校の人たちと仲良くなれた。そして、誕生日まで祝ってくれてとてもうれしかった。もう最高の1日だった。

3日目には、沖縄を満喫ということで、クエフ島という無人島へ行き、海ではしゃぎまわった。青空の下で食べるバーベキューは最高で、エメラルドグリーンの海で泳ぐことは、最高だった。さんご礁に熱帯魚、沖縄ならではの海だった。ドラゴンボートにも乗り、2回とも落ちてしまったけど、それでも楽しかった。クエフ島から帰るとき、とてもさびしかったけど、こんなに楽しかったことはなかった。

他にも、ホテルで友達と遊んだことや飛行機に乗ったこと、それはもう最高の修学旅行だった。この修学旅行は一生で忘れられないものとなった。

## 修学旅行

田中健司

修学旅行で一番楽しかったことは、クエフ島で遊んだことです。僕はヒトデやウニなどを捕まえたり、バナナボートをしたりドラゴンボートなどで遊んだことが楽しかったです。修学旅行は、おみやげを買うのがたいへんで自分の買いたいものがあまり見れなかったことです。

ホテルで僕達の部屋へみんなを集めて怖い話をしていて、電気がかってについた時はちょっとびびりました。

津堅島では、ニンジンゼリーを食べた時は、ニンジンの味とゼリーの甘さが、マッチしていておいしかった。

後、語り部学習で、おじやんとおばやんの話を聞いて、沖縄戦は本土上陸までの時間稼ぎの戦争だったそうで、勝ち目のない戦いをしていたなんて、僕は信じられないくらいピッ

クリした。戦争になると近所の人達でも思いやりやさしさがなくなり、自分が生きなければのらないから、自分ばかりになってしまうそうです。僕も多分、戦争になると自分が生きるのにいっぱい、いっぱいになると思った。

やっぱり、おいやんとおばやんも、命は大切にせなあかんと言っていた。

僕も、命は大切にせなあかんと思つた。

話を聞いて戦争は人をかえてしまう恐ろしいことだとよくわかった。

3年間、戦争の勉強をしてきて、この話を聞いて、「今まで勉強してきたことのまとめだった」思った。

この修学旅行は修学旅行へ行く前の事が大変だったけど、戦争の勉強もあり、楽しい津堅中学校との文化交流もあり、ケガもなく、ケンカもせずみんなも仲良く、楽しくもりだくさんの修学旅行だったので、一生に残る最高の修学旅行だった。本当に楽しかった。

## 修学旅行の感想

大澤奈奈

この修学旅行は最高だったと思います。特にそう思うのはクラスの仲が一段と良くなったことと、色々な体験ができたことです。津堅中での交流、クエフ島の海水浴は、一生忘れられない思い出になりました。

平和学習でのひめゆりの塔資料館、平和記念公園、糸数壕の見学は、今までの平和学習のまとめだったと思います。これまで感じた事のない気持ちになったり、驚くような写真をまのあたりした時の感情はきっと私の中で消えないと思います。きっと皆もそうだったと思います。見学中の皆の顔は真剣そのもので、周りの学校の生徒とは全く違っていました。きっとこれまでの学習を通してきたからだと思います。

そして、津堅中での交流は、方言が違ったりして文化の違いをあらためて感じました。ハリー一競争で自分のチームが力をあわせてがんばれたことは、とても嬉しかったし、一番盛り上がっていたと思います。津堅中の生徒に驚いたり、学ぶ事がいっぱいありました。また、数人の子と仲良くなれたのはうれしかったです。

クエフ島ではすき通った海に感動して、初めて乗るドラゴンボートにも乗りました。何回もほうりだされたけど、乗った皆で笑いあうことができました。

宿泊先の神谷荘では部屋に皆で集まって話をしたりしました。怪談の話をしていると電器がかってに点いて皆振るえあがりました。今思えば笑えるけどその時は本当に怖かったです。その他にも、大量のカメムシに部屋を臭くされたりしたけど今では良い思い出です。

この4日間本当に楽しかったです。初めての飛行機に驚いたり怖くなったり、初めて船に乗って酔ったり、数えきれない体験をこの修学旅行でしました。一生忘れられない最高の修学旅行になりました。



## 4 取り組みを終えて

この修学旅行の取り組みは、「平和・交流・自然」の3つをテーマにしてきましたが、何もかも最初から計画できていたものではありません。まずは、「18名の学級」ということで、少々のご事情は可能だから、「修学旅行」というものを、現在ありがちな「観光」的なものではなく、もっと「修学旅行でなければ体験できないものにしたい」という以前から思い描いていた修学旅行を実施しようと考えたのです。まず、「平和学習」を取り上げたい。それには最終的に「沖縄の戦いを知らずして戦争は語れない」という強い思いから「沖縄」を設定し、沖縄といえば、普段は体験できない「自然」があり、そして個人ではできない「学校交流」を取り入れては・・・というふうに、次々と事が運んでいくことになりました。この取り組みを成功させるため、特に

- ・平和学習を3年間で系統だてて進めること
- ・集団として、本当に「楽しく」するためにはどうすればよいのかを気づかせること

に力を注ぎました。また、この過程で、さまざまな思いがけない学習もできました。たとえば、

- ・「交流」や「しおり」などでの、コンピュータの操作
- ・お世話になった方々へ心から感謝をすること（お礼の手紙など）
- ・沖縄復帰30周年であり、いろいろな資料が手に入ったこと
- ・村の取り組みで、PR活動ができたこと

などです。まだまだ学べたことはたくさんありますが、子どもたちの「アンケート」からも分かるように、事前学習・当日・事後学習すべてにわたり、満足した様子が伺えました。お小遣いも、平均7～8000円程度しか使わなかったにもかかわらず（使う施設や場所があまりなかった）、不満の声はひとつもありませんでした。ただ、あまりにも盛りだくさん過ぎて、少々忙しかったかもしれません。

修学旅行後は、お世話になった方々へのお礼の手紙と、「修学旅行の想いで」冊子作り、そして、ビデオ編集をして、生徒一人ひとりに手渡しました。生徒たちにとって、それこそ一生心に残る修学旅行になったと思います。それは、いろいろな方々のご支援やご協力を肌で感じたこと、そして、「きちんときまりを守れば楽しくできる」ということを生徒たちが身をもって体験できたように思ったからです。

引き続き、津堅中学校との交流を深め、今度は地域ぐるみの交流もすすめていくことになっています。交流を引き受けていただいた津堅中の皆さんや津堅島の方々には本当に感謝しています。

今年度初めての取り組みにもかかわらず、修学旅行といえば「沖縄」というイメージが定着しているかのようです。現3年生は、それだけ大きな財産を1回目で築き上げたのだと思います。そのことが、生徒一人ひとりの自信につながったように思います。3年生にとって残り少ない中学校生活ですが、今度は卒業式というクライマックスの取り組みに向けて、新しい発想から創造的な式を作り上げていこうと話合っています。

以上の取り組みは、少人数だからこそできたのかもしれませんが、大規模校などではなかなかむずかしい面もあると思います。ただ、少しでも参考にさせていただける部分があれば幸いです。

